

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 急性脳炎・脳症例を対象とした定量脳波解析を用いた神経損傷のバイオマーカーの開発（後方視的探索的臨床研究）
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 神経内科（研究責任者）亀井 聡
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2021年 3月 31日
＜研究の目的と意義＞ 「高熱に続き意識障害や痙攣が突然出現し持続する患者さん」が急性脳炎・脳症と臨床診断されます。迅速な診断と時期を逃さない治療が良好な転帰を得るために欠かせませんが、発症早期に個々の患者さんに生じた神経損傷の程度を評価し、後遺症の出現を予測することはきわめて難しいです。外傷性脳損傷や脳卒中の患者さんを対象とした定量脳波解析研究において脳の活動性の同期性の低下と神経学的予後との関連が報告されており、急性脳炎・脳症例においても定量脳波を用いた評価が神経損傷の評価指標となる可能性があります。本研究の目的は定量脳波を用いた急性脳炎・脳症の神経損傷の指標を開発し、急性脳炎・脳症を呈した患者さんの診療に寄与することです。
＜利用する試料・情報の項目＞ 入院時の年齢や性別、診断名、尿や血液、髄液などの臨床検査所見、CT や MRI などの画像検査所見、転帰に関する情報（診療録）、デジタル脳波計による脳波記録の解析から得られた情報
＜対象となる患者さん＞ 2000年5月1日以降2017年8月31日までに、急性脳炎・脳症、急性髄膜炎と臨床診断され、病初期にデジタル脳波計を用いて脳波記録がなされた、入院時年齢20歳以上の方
＜研究の方法＞ 急性脳炎・脳症や髄膜炎患者さんの診断のために行われた、デジタル脳波計による脳波記録をコンピューター解析し、そこから得られた情報と予後との関連を比較検討します。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町30-1） 神経内科 氏名：亀井 聡 電話：03-3972-8111 内線：（医局）2602 （PHS）8358